



# Mitsui V-Net

## Mitsui Volunteer Network Center

### 三井ボランティアネットワーク事業団

ニュースレター Vol. 59

2018年1月1日発行

## 新春のご挨拶

三井ボランティアネットワーク事業団  
理事長 八木 厚

あけましておめでとうございます。

昨年6月に藏本前理事長よりバトンを受け理事長に就任いたしました。

日頃は三井V-Netの活動に多大なるご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。



三井V-Netは、わが国の少子化・高齢化が著しく進捗し未曾有の高齢社会を迎える時代に、日本社会が活力を保ち続け、国民生活を維持・向上させていくためには、高齢者が社会活動に積極的に参加し、活躍できる環境を創り出すことが急務との認識に基づき、平成8年に創設され、一昨年の10月で節目の20周年を迎えることができました。

シニアの生き甲斐づくり支援を趣旨に設立された本事業団は、設立から20年余が経過した現在、その諸活動は三井グループ全体の社会貢献活動へと発展、進化を遂げ、三井グループ運営会員各社（現行23社）のOBを中心としたボランティア登録会員は、1,500名（2017年3月末現在）を超え、①国際交流、②環境保全、③医療・福祉、④文化・教育の4分野において、年間延べ10,000名を超える方々がさまざまなボランティア活動に活躍されています。

東京本部では、国際交流、医療・福祉分野に部会が設立され、各部会の代表である世話人を中心に活動が実施されています。国際交流分野では、東京大学国際センター部会で第3回留学生交流会を開催し、大学、留学生から好評を得ました。また、医療福祉分野では、恒例のエリザベス・サンダース・ホームのチャリティーコンサートが11回目を迎え、収益金を関係先に寄附させて頂きました。

関西支部では、一昨年12月より、神戸大学で、「兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業（G-Navi）」との連携により、企業訪問や社会

見学を通じて留学生の視野を広げる活動への支援を行っています。また、一昨年10月より、京都の旧三井家下鴨別邸での案内ボランティアを派遣しています。

中国支部では、同支部の永年にわたるボランティア活動に対し、昨年1月広島市より、「環境美化永年活動10年表彰」を受けました。これは平成26年度の広島市福祉協議会の会長表彰、平成27年度の広島市長表彰に続き3年連続の受賞となります。

一方、今後の課題としては①三井V-Netの今後の方向性②新規ボランティア登録会員の拡大③運営会員会社の拡大の3点があります。

まず、三井V-Netの今後の方向性につきましては、設立後20余年が経過し、社会環境が変化しつつある中、三井ブランドの価値創造を実現するために三井V-Netの活動内容、組織体制はどうあるべきかにつき、会員会社の運営委員の皆様方と継続的に議論を深めてまいります。

一方で、定年・雇用延長に伴う三井V-Net会員各位の高齢化が進んでおり、新規ボランティア会員の拡大は喫緊の課題です。会員会社のOB会等での告知を改めて徹底するとともに、定年を迎える少し前の比較的若い世代をターゲットに、キャリア研修等の機会を活用して、現役社員にも三井V-Netの認知度アップを図ります。

運営会員会社の拡大につきましては、二木会・月曜会メンバー会社の未加入会社及び休会会社への新規加入あるいは復会の勧誘に引き続き積極的に取り組んでまいります。

三井V-Netとしては、今後ともボランティア活動の頻度アップと質の向上に努め、三井グループとしてのCSR活動の一翼を積極的に担うとともに、三井ブランドの更なる価値向上を目指し努力してまいりたいと思いますので、引き続き皆様のご支援ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

最後に、今年一年の皆様のますますのご健勝ご発展をお祈り申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



## 本部（東京）

### 東大国際センター部会の活動報告 東大山上会館での留学生との交流会

東大国際センター部会世話人  
瀬川 晋（三井住友信託銀行OB）

東大国際センター部会での活動は、FACEでの日本語による留学生との一対一交流が基本ですが、留学生同志が交流する機会を設け、会員同士も交流し情報交換を図るべく大学側の協力をもらい春と秋にイベントを続けています。留学生の皆さんは理系の修士・博士課程の方が多く、研究など多忙な毎日を送っているため、学部が異なる留学生同志の交流は少ないようです。今までも日本庭園、歴史を感じさせる下町、企業博物館、科学未来館など施設めぐりが続きました。今秋の交流会は10月13日（金）の18時から本郷キャンパス内の山上会館で開催しました。

この会館は昭和61年に東大創立100周年の記念事業として建てられた重厚な施設で、この会館での交流会は今回で3回目です。

参加者は留学生21名（12ヶ国）、東大国際センター相談室からは大西准教授・原田講師と2名の若い相談員、三井側は会員14名・事務局3名で合計42名が参集しました。会場は40人収容でお互いの声かけにはちょうど良い広さ。料理はビュッフェ方式で学生の評判も上々のようでした。

井澤会員が主催者挨拶、続いて国際センター相談室の大西准教授による来賓挨拶、八木理事長による乾杯のあとは、しばし食事、ドリンクしながらの会話の花があちこちで続いておりました。

留学生は中国8名、タイ5名、イラン・台湾2名、韓国、マレーシア、ペルー、イタリア、フランス、ドイツなど多彩な顔ぶれでした。後半はお楽しみのおくじ引き時間が始まりました。これは出席会員等が持ち寄ったプレゼントを留学生間でくじ引きの形で賞品をゲットするゲームです。賞品



交流会参加者の集合写真

は和食器、木版画、和菓子、修学用品などいろいろなものが用意されていました。



司会進行はタイのボスさんとゴルフさんの二人。二人とも昨年に続き軽妙な語り口で座を盛り上げてくれました。賞品を受け取ったあと、自己紹介をしてもらいました。日本語を上手に話す学生が多く、来日間もない学生は英語と日本語で一生懸命話している姿も印象に残りました。

参加された留学生の皆さんは十分満足しており、お互い仲良くなり会話の花が咲いている姿を見ることは、お世話した我々にとっても嬉しい時間でした。

### 東大柏部会第2回「英語落語会」開催

東大柏部会  
後藤 正隆（三井物産OB）

2017年7月11日（火）17:00～19:00 東大柏キャンパス図書館棟メディアホールにて第2回「英語落語会」を三井V-Net東大柏部会主催、東大柏国際オフィス（KIO）および東大柏図書館共催にて開催致しました。

2016年11月の第1回「英語落語会」には東大外国人留学生、東大諸研究所職員、研究員、大学国際室、図書館関係者、近隣の国際交流諸団体関係者、三井V-Net柏部会会員など多くの来場者があり、初回イベントとしては満足の行くスタートでした。

今回第2回目は留学生の日本文化への関心、親しみを増す文化交流促進のため、もっと多数の留学生の来場を意図しましたが、時期的に夏休み期間に入るなどの心配はありました。しかし、関係者のご協力で来場者合計で80名を上回り、我々三井V-Netとして喜ばしい動員数となりました。



80名以上が集まって英語落語を楽しみました



人と人のまんなかに。

英語落語出演者は、昨年に引き続き、当柏部会会員でもある宮田さんのご尽力で、彼の属する東京英語落語かい枝会の有力メンバー（彼も出演）に出演頂き、一番太鼓、二番太鼓で雰囲気盛り上げ、先ずは男性演者が会場の階段教室最上段にもはっきり通る大熱演で笑いを取り、中入り休憩時はKIOご手配の湯茶、お菓子を頂きながら、来場者間の交流で和気あいあいの好ましい時間がありました。当部会の神崎さんも高級羊羹の提供やお手伝いで活躍しました。



当部の宮田さん(良寛さん)も熱演

後半は若手女性軍のこれまた張り切り落語で多くの拍手を浴び、トリはかい枝会の“大助さん”がプロ並みの演技で大向こうをうならせ、約2時間の第2回英語落語会は無事閉幕致しました。

三井V-Netからは本部及び東大柏部会会員12名が参加、会場設営、音響事前チェック、客席への案内、後片付け等協力致しました。

後刻来場者のアンケート結果を参考にし、今後の改善を計りたいと考える次第です。

## 第12回横国大留学生の鎌倉坐禅体験会

横濱国大部会

行事世話人 布野 剛甫（三井住友銀行OB）

2017年6月10日、好天に恵まれて、丁度アジサイの季節であり北鎌倉駅から建長寺への道は、外国人も多く、朝から混雑していた。今回は、留学生29名、会員等13名の参加があり、なんと留学生は昨年比、倍の参加となった。

会場である回春院は、建長寺の一番奥にある塔頭で小川に沿う新緑に囲まれた道を、点在するアジサイ、春から赤いモミジなどを見ながら登って行くので普通の寺院見学と違うお寺の雰囲気留学生に実感してもらえる。



集合写真

今回はイスラムの学生もいたので、宗教目的のない日本文化“坐禅”の体験会だと念を押し、ご住職の概要説明を聞きながら3回ほどの坐禅を行った。



坐禅体験の様子

新緑に囲まれた本堂は風通しもよく、時折ウグイスの鳴き声が聞こえてくる以外は静寂の中にあり留学生にとって貴重な坐禅の体験になったと思う。本堂の縁側や庭先を借り昼食を取ったが、池の亀や緋鯉、山際のアジサイ、野イチゴの赤い実、泰山木の白い花など純和風の光景を楽しんだ。

昼食休憩の後、建長寺の方丈・法堂・仏殿・梵鐘などを見学し解散したが、留学生には会員の案内で近隣の東慶寺・長寿寺見学など自由行動してもらった。イスラムの学生などから、今回のイベントで、日本で初めてのことを多く体験できて良かったとの話を聞き、世話人としてほっとしたところである。

## 横濱国大部会 富士見登山(大野山)報告

横濱国大部会会員 藤田 芳規 (活動会員)

2017年5月7日(日)に富士見登山(大野山)を行いました。

大野山(723m)は神奈川県西部にあって富士山の展望が素晴らしい山です。

参加した留学生は殆んどが対一交流の学生で20人が参加(登山開始後2人が体調不良でリタイア)。部会員5人がサポートしました。

連休も最終日だったためか電車の着席もほほうまくいきました。

7時45分に横浜駅に集合して、相鉄線・小田急線・JR御殿場線と乗り継いで、登山口の谷峨駅に9時41分に到着。田園風景の中を新緑がきれいな山に向かいます。30分ほど歩くと、7合目まで雪をか



曇り空の中、富士が見えた!!

ぶった富士山が見えてきました。

黄砂飛来の子報もあり、雲が多くて、青空にくっきりとはいきませんが、参



大野山山頂にて

加者のカメラやスマホが大活躍です。だんだん日差しが多くなって、暑くなってきますので、たびたび立ち止まっては水分の補給です。

上り坂にかかると足早のグループとゆっくり歩くグループが出てきます。足早の3人は11時30分には山頂に着き、大半のメンバーが12時に山頂に到着。日影で風に吹かれながら昼食。思い思いの休憩に入りました。

最後尾の2人はさらに30分遅くなりましたが、部会員とニコニコ顔で到着しました。

山頂の思い出に集合写真を撮って、13時15分に下山開始。下りはみんな一緒の足並みで14時55分に谷峨駅に到着しました。

谷峨駅発15時10分。16時36分に横浜駅に着いて解散しました。

昼食時間もゆっくりとれ、登山道も整備されて歩き良いので、景色を楽しみながら、参加者交互の交流も重ねることが出来ました。

参加した留学生のユウセイさんが頑張って日本語で感想文を書いてくれましたので、披露させていただきます。

## 富士見登山に参加して

横国大留学生 ユウセイ (中国)

登山というのは人生のようなことだと思います。登ったり、下ったり、喜んだり、落ち込んだりしています。途中で行き詰まることがよくありますが、美しい景色も見えます。

5月7日の日曜日はちょっと曇りでしたから、富士見の一番天気ではなかったと思います。朝7:45横浜駅で集合して、何回も乗り換えて、約1時間半かかって、やっと谷峨駅に到着しました。その時日差しはもうずいぶんつよくなってきました。面白かったのは谷峨駅には改札口もなく、切符はそのまま車掌に渡しました。駅を出たら、やっぱり横浜のような大都市の雰囲気は全然なく、逆に小さい町ののんびりした気がしました。

登り始めた時は、道は広くて平らで、とても楽でした。よいことは長続きしなく、すぐ土の道になってきて、坂も険しくなりました。でもまだ山の中腹にも着いていないうちに、富士山はもう見えてきました。みんな写真を撮って、また元気を出しました。いくら辛くても、目標があれば、最後まで続けます。山頂に着いたら、富士山は雲に隠れたり、顔を出したりしていました。「富士山には3名の神様が居て、雲に隠れたら、女の神様は恥ずかしがっているかもしれません」という話はパートナーの先生から教えていただきました。多分神様は気ままでしたね。一番大変だったのは下る時だと思います。土の道のため、滑りやすくなりました。でも通る人たちは親切に挨拶してくれて、みんなと一緒に楽しんで帰りました。

ボランティアの先生たちと留学生とはよく話したり、美しい富士山を見たりして、疲れましたが、すごく楽しかったです。本当にありがとうございました！

## ホンダ自動車工場及び川越・古い街並み見学の旅

千葉大部会世話人  
田嶋 秋雄 (三井住友建設OB)

2017年7月11日(火)に千葉大学主催による社会見学会(バスツアー)を実施した。

千葉大部会の会員が旅程を企画し、参加留学生の引率に当たった。

参加者は留学生が世界16ヶ国から33名、千葉大学教員1名、三井V-Net7名(内事務局1名)総勢41名。

午前8時半に千葉大学を出発。2時間程かけて最初の見学先の川越に到着。暑さ厳しき折、水分補給等体調管理に気をつけながら川越「蔵造りの街並み」の見学スタート。

まず石畳の道に軒を連ねる菓子屋横丁へ。ここでは早速昔懐かしい菓子を試食する人、おいしいと言ってお土産を買う人も。重要伝統的建造物群保存地区となっている蔵造りの街並みには残したい日本の音風景100選となっている時の鐘、川越にある最古の蔵造りの大沢住宅を含め多くの蔵があるが、蔵の中では種々の店舗が営業しており、各人興味のある店に入って買い物、見学、写真撮影等を楽しんだ。

次に多くの重要文化財がある川越大師喜多院へ。



江戸城より移築された客殿、書院、庫裡等を見学、併せて日本庭園を楽しんだ。

境内にて持参の昼食をとり五百羅漢を見学して次の見学先ホンダ自動車狭山工場へ。

工場ではまずビデオを使用しての工場概要、注意事項等を聞いて日本語班と英語班の二班に分かれ生産現場へ。

狭山工場は乗用車の一貫生産完成車工場でオートメ化された工場ではあるが、ロボットと人とが協調して作業する状況がみられた。現在は2交代制のシフトで1日に700~800台の完成車が生産されているとのことである。

最後に記念撮影が行われ帰路へ。予定通り午後6時過ぎに帰着解散した。

参加者のアンケートをみると、多くの留学生に楽しんで頂けたが、限られた時間内でのツアーのため、川越の街並み散策の時間がもっと欲しかったとの声があった。一方今回の幹事をやって頂いた千葉大部会の高山さんの見学先での説明、日本語が余り理解出来ない留学生に対する井出さんの英語によるフォローには留学生から大変好評を得た。ここに高山さんの周到な準備により無事見学会が終了したことを報告致します。

#### (参加留学生の感想文抜粋)

オムカル・アコルカル  
(国際教養学部 短期留学生 インド)

#### 三井グループのサポート

今回のホンダ工場見学が非常に楽しかったし、様々なことを体験できたし、様々な国々から来た学生達とも仲良くでき、貴重な経験になったと思う。言葉で言い表せないほど良い経験になったのは、先生をはじめ、三井グループの皆様のお陰である。

千葉大学を出発した時から、先生をはじめ、三井グループの日本人の皆様が大変様々なことでお世話にもなったし、豊かな経験を持っている方々

と交流ができ、嬉しかった。

私は三井グループの方々と交流をすることによって、次のようなことを学んだ：

1. 自分の国の文化や伝統などを海外から来た人々に理解してもらうため、まず一番大事なことは、自分で自分の国の文化や伝統をちゃんと理解しておくこと。そして、外国人に簡単な言葉で伝えるということが良い勉強になった。
2. 人と人との繋がりはどういうふうに大切にすれば良いか。そのために何が必要なのかがわかって来た。
3. 三井グループには、何年もの豊かな仕事上の経験を持っている方々が多くいるということ、千葉大に留学をしていた私の先輩から聞いたが、見学経験を通じ、様々な三井グループの方々と話し合い、勉強になる新しい知識を得ることができ、非常に感動をした。

ドミニカ・シマンキューイチ  
(国際教養学部 短期留学生 ポーランド)

7月11日にホンダ自動車の狭山工場と川越市の蔵造りの町並みの見学に参加させていただいた。この見学旅行は三井ボランティア事業団の協力によって、貸し切りバスによる見学旅行だった。ずっと前からいつか自動車工場が見学できたらいいなと考えていたので、このツアーがあることを知り、直ちに申し込んだ。ホンダ自動車の工場へのツアーは日本製自動車の技術が素晴らしいということを広めていくという日本学の学生のミッションを果たすために、また日本の労働文化についての知識を得るために役立つと思い、申し込んだのだ。

最初に訪問したのは川越市の蔵造りの町並みであった。そこはよく保存されており、とても綺麗な町並みである。たぶん留学生が日本での昔の日常生活が想像でき、その雰囲気が感じられる観光地について聞かれると、そのようなところが思い浮かんでくるのではないかと思った。そのような気持ちにさせてくれる街並みを歩く機会があって、とても嬉しく感じた。日本の夏に欠かせない「かき氷」を食べながら、町のシンボルである「時の鐘」を見ると、江戸時代の雰囲気が感じられ、とても魅力的であった。町並み歩きのあと、喜多院の見学に移った。そこで「徳川家光誕生の間」



と言われるところ  
を見ることができ、  
とても印象に残っ  
た。川越市での観  
光スポットを巡り、  
「それこそ日本留

学を体験しているな〜」「日本人学生の修学旅行も同じような感じかな」と色々考えさせられた。

次にホンダ自動車の狭山工場へ移動した。まず、ショールームで昔のモデルから新しいモデルまで色々なタイプの自動車、またバイクも揃えられていた展示室を見学した。その後、工場での自動車生産過程について説明する動画を見て、実際に工場に入った。工場では、大きな鉄のシートから自動車の形を作るところ、エンジンを立てるところ、完成車を検査するところなどを見た。説明の動画で狭山工場は技術化のレベルが高く、ロボットが多く使用されることで、効果的にエネルギーと時間を使用することができると言っていたが、それでもロボットの数に驚いた。ポーランドのある冷蔵庫工場を見たことがあるが、その工場は同じような高いレベルまで機械化されていなかった。狭山工場ではロボットが多く、しかも単純に時間をおいて同じような作業を繰り返すのではなく、レーザーで周りをモニターし、生産が遅れていた場合、それに合わせて作業の進行を調整するというところはとても印象的だった。

川越市の蔵造りの町並みとホンダ自動車の狭山工場の見学はとても貴重な経験になった。特になかなか気軽に見られない自動車の生産過程を見学させていただいたことは留学の中で最も興味深かった体験の一つとして印象に残ると思う。

最後になってしまいましたが、企画協力くださった三井ボランティア事業団の皆さまに感謝申し上げます。ありがとうございました。

## いけばな展『いけばな×百段階段』 見学会実施

駒澤大学部会 白井 信雄（三井住友銀行OB）

10月1日(日)、駒澤大学部会交流個別イベントとして目黒のホテル雅叙園で行われていた、いけばな展「いけばな×百段階段」の見学会を実施しました。このいけばな展は、都の指定有形文化財「百段階段」を会場に華道51流派が集う花の祭典として定評があることから、留学生には現代



雅叙園前での集合写真

の「いけばな」を知るよい機会になるかと思いき今年初めて実施したものです。

当日は、来日したばかりの秋季留学生3名を含む交換留学生9名と会員4名合計13名が参加。留学生は、大学の国際交流会館（留学生が入居）からバス便を利用し集合場所の目黒駅に全員そろって到着。会場に向かう途中、行人坂にある大圓寺に詣で、この寺にまつわる「八百屋お七と吉三」の話の聞くと、4月の江戸博物館見学で江戸はたびたび大火事が発生したと知ったからか、国文や日本史専攻の学生だけでなく、みな大いに興味を持ったようです。

会場に到着すると、正面入り口では草月流勅使河原家元の大作が我々を迎えてくれ期待が一層膨らみました。1935年に完成した木造建築である百段階段の各部屋はそれぞれ桃山風、江戸風と趣が異なりますが、各流派は各々の部屋の趣と調和のとれた「美の世界」を展示。部屋の装飾の美しさに負けない「いけばな」の存在感が、見る者の心を捉えるすばらしいものでした。今回はカメラ撮影が認められていましたので、学生は思い思いに持参したカメラやスマホに作品等を収めていました。



最後は、室町時代に成立した「いけばな」も、その源流は古代飛鳥時代まで遡り、四季折々の花を楽しみ、緑

を絶やさぬ常緑樹に神を感じる日本人の心に仏教の仏前供花が絡み合いながら生まれたともいわれている「いけばな」の歴史を会員も一緒に学びながら終えました。

当日参加された会員や招待券をお譲り頂いた会員他事務局関係者の皆さまに感謝申し上げます。



## 身障者支援ボランティア活動の楽しみ

藤田 滋 (三井物産OB)

三井物産を早期退職してから、三井V-Netの会員になったが、完全リタイアしているという訳でもない中途半端な就労状況を古希に近い年齢になっても続けているため実は名前だけの会員でした。

ニュース・レターに書かれている定期的な留学生支援活動や病院や博物館での奉仕活動は出来ないと諦めていましたが、数年前からスポット対応が可能な公益財団法人日本チャリティ協会の障害者支援事業に参画しています。

同支援事業のなかで、私はふれあいコンサート、ふれあいフェスティバル、明治神宮奉納全日本力士選士権大会等の場内案内表示設置、身障者の誘導案内・入退場支援等を行っています。

これらのイベントは身障者が対象であるため、午後一番から始まるものが多く、会場準備の対応でボランティアの集合時間は8時台が多く、小生は横浜西部の住民であることから開催日には、早起きを余儀なくされています。最寄駅までは家内がアッシー君をやってくれているので本当に助かっています。家内も三井V-Netの一員ですね。

それにしてもやり始めた頃は、国技館をはじめとして有名なコンサート会場が、バリア・フリーになっていないことに本当に驚きました。

著名な演奏家の素晴らしい音楽を聴けることや大相撲を観戦できることも実は役得ではありますが、イベントに来られる身障者や付添いの方々の明るい笑顔に、こちらも毎回喜びを感じています。結構な肉体労働もたまにはありますが、体が動ける間は、この身障者支援活動を続けていきたいと思えます。

(本部事務局補足)

三井V-Netでは公益財団法人「日本チャリティ協会」の障害者事業として開催される各種イベントに会員の協力を得てボランティアを派遣しております。



明治神宮奉納力士選士権大会での来場者案内

平成29年度のイベントは以下の通りです。(予定を含む)

- 2017年6月24日 クブナ・フラ・フェスティバル
- 10月2日 明治神宮奉納全日本力士選士権大会
- 12月4日 ふれあいフェスティバル
- 2018年3月11日 障害者のためのふれあいコンサート

## 千葉大付属病院で三井V-Net会員が 永年活動表彰される

本部事務局



山本千葉大病院長より表彰される大湊さん

2017年10月26日、千葉大学医学部附属病院で平成29年度ボランティア感謝状贈呈式が開催され、三井V-Net会員の大湊侑子様が大湊様2004年からボランティア活動を開始され、毎週木曜日。朝7時半から外来で活動されています。1階の総合案内付近で、受診手続きの説明や院内の案内、車イスで搬送等のボランティアをされています。

13年間のボランティア活動時間は2022時間。看護師としてのご経験を活かし、てきぱきと活動され、病院側からも大変感謝されているとのこと。

なお、大湊様は1998年から2012年まで日赤医療センター(広尾)でボランティア活動で活躍されていました。同医療センターでも2008年に永年(10年)活動表彰されています。

今年で11回目を迎える恒例のESHチャリティーコンサートが今年も大磯駅前、聖ステパノ学園「海に見えるホール」にて開催されました。

## 2017年秋 エリザベス・サンダース・ホーム(ESH) 第11回 チャリティーコンサート開催

本部事務局

三井グループ運営会社関係者の皆様、弊事業団東京本部会員の皆様のお陰でチケットも完売、満席の中、今年から就任の弊事業団八木理事長の挨拶



の後、司会の高田佳代子氏の開会宣言により、小林洋平氏のサクソフォン演奏からコンサートはスタートしました。

ピアノ演奏では3年ぶりに木原健太郎氏がコンサートに戻ってくれて、一段とレベルアップした演奏を聴かせてくれました。また、ストリングスメンバーもほぼ昨年までの方々が顔をそろえてくれて、息の合った素敵な演奏を聴かせてくれました。

特に今年は小林洋平氏のご尽力で、最近テレビ等への出演も増えている山田姉妹のお二人に、このチャリティーコンサートの主旨に賛同をいただき、多忙なスケジュールの中、スペシャルゲストとして出演をしていただくことができました。

山田姉妹のお二人には、「あなた」「リトルマーマイドメドレー」の2曲を素敵なソプラノで聴かせていただきましたが、60歳代を中心とした観客の皆さんにとっては大変懐かしい曲ばかりで、山田姉妹ワールドを堪能しました。

演奏会の締めは例年のとおり、小林洋平氏のオリジナル「いちばん大きな空へ」が演奏され、観客を再び感動の渦の中へ招き入れてくれました。

演奏後はESHの児童より小林洋平氏、木原健太郎氏、山田姉妹に花束が贈呈されましたが、児童の可愛さもあり、観客の皆様からの大きな拍手が鳴りやみませんでした。

更にその後には、弊事業団八木理事長より収益金目録が今年から新たに就任されたESH理事長宮崎道忠氏に贈呈されました。贈呈後、宮崎理事長より演奏者の皆様、来場いただいた観客の皆様及び関係者の皆様に御礼の挨拶があり、演奏会も無事閉会



することができました。皆様ご協力ありがとうございました。

## 関西支部（大阪）

### 留学生交流録

安田 憲世（三井物産OB）

三井V-Netでの海外留学生との「一対一交流」の始まりは、関西学院大学の中国・内蒙古からの留学生、包巴特尔（ホウバトル）さんでした。包さんは中国のビール会社で3年間の社会人経験があり、関学卒業後は日本での就職を希望していたので、日本での生活で注意することや、就職事情の厳しさや国情の違いなどを中心に、今後の就職活動の指針を助言しました。その後も、自宅が関西学院大学から近いので、同大学の留学生との交流を希望していましたが、大学側事情で同校との交流支援はなくなり、2人目からは神戸大学の留学生を紹介頂きました。神戸大学では、今までに計4名の留学生との交流を行いました。

交流に際しては、面会時以外でも何か質問があればEメールで訊いてもらい、普段の生活を共にする中で日本文化を理解してもらうためにも、女房同道でショッピングモールや小旅行、食事（特に関西のB級グルメ）等、こちらも楽しみながら気楽に交流することに努めました。

現在は、中国新疆出身の李博涵（リハクカン）さんと交流中ですが、彼女も上海の会社に就職が決まり来年3月に卒業後は中国で働く予定です。

今まで交流した学生は、私が台北、北京駐在経験もあるため、中国からの留学生が多かったのですが、一番長く付き合ったのは、インドからの留学生Ancy Josephさんでした。

彼女はインドで博士号を取得後、日本の国費留学生として2010年10月から2014年3月まで神戸大学に在籍しEngineering,Bio/Technology-cyanobacteriaを研究していました。在学中にイン



Ancy Josephさんご一家と筆者（右端）

ドの男性と結婚し、3年前に長女が誕生しました。彼女一家とは家族付き合いが続いており、長女のAngelina





人と人のまんなかに。

ちゃんからは「おじいちゃん」と呼ばれています。しかし、残念ながら本年10月からアメリカで働くことになり、10月2日に日本を離れてしまいました。

彼女は、交流開始時には日本語が殆ど話せず英語で意思疎通していましたが、今は簡単な日本語会話が出来るようになりました。しかし、彼女の一家で一番日本語（関西弁）が出来るのは娘のAngelinaでした。一家のアメリカでの生活がうまくいくように祈念しております。

## 「同志社大学留学生一対一交流」について

田山 博憲（三井不動産OB）

京都の旧三井家下鴨別邸の一般公開が昨年2016年10月1日からスタートしました。

当初は三井V-Netのボランティアとして登録していましたが、過去の経緯からスタッフとして従事することになり、現在も続いています。

その一方で、三井V-Netからの紹介で「同志社大学留学生交流ボランティア」への登録をおこない、6月から活動を始めました。

自宅から歩いて20分程度の距離で、義祖母、姪っ子が同志社出身であることから昔から馴染みがありました。サラリーマン生活40余年の経験、京都における歴史、文化などの知識をどのように生かせるか楽しみがある反面、留学生に対しどのように対応し、いかに交流を図るか不安もありました。

留学生は中国ハルビン出身の李月（リュエ）さんで同志社大学マスター課程に在籍し、中国の大学時代に日本語を学んできたので普通の日常会話は不自由ありません。時々中国語を教えてもらうのですが、初め戸惑ったのは「田山」はtayamaと発音するのではなくtian syanと発音するように日本語とは漢字の発音が全く違うことでした。

会う場所は月2～3回同志社大学内の喫茶店です。昔私が通っていた大学とは大きく異なり



留学生李さんと筆者（右側）

ゆったりとして、きれいな建物ですので気分よく時間を過ごすことができます。

日本文化とりわけ京都の歴史・文化について話をし、夏に入り祇園

祭、大文字の送り火、観光名所などを説明し京都に対する知識と理解をより深め、京都が好きになってもらうように心がけました。



彼女は就職の希望があるので、日本企業の概要、ビジネスマナー、就業規則などについて説明するために事前に資料を集めるのに本屋に行ったり、インターネットで検索したりしていろいろ勉強させられました。また中国関連企業の調査のためJETROと一緒にいき、企業調査のお手伝いもおこないました。

午前中に終わった時は、大学の学食で若い学生たちと一緒に安い料金の食事をするのも楽しみの一つです。

彼女がより日本を理解し、ますます日本が好きになり無事日本の良い会社に入社できることを期待し、もう少しの期間ですが役に立てればと思っています。

## 2017年 秋の須磨海岸ビーチクリーンアップ活動に参加して

野島 一博（王子ホールディングスOB）



10月1日、昨年三井V-Netに登録していただいたから、本活動2回目の参加となりました。海岸には昨年と同様、老若男女大勢の方々が集まっておられ、海岸をきれいにしたいという思いは年齢、性別関係なく同じようです。

天候はやや曇り加減ではあるものの、気持ちの良い秋風が吹く中での作業となりました。海岸の拡張工事が行われたこともあって、広々とした砂浜にゆっくりと歩を進めると、サクサクと足の裏に伝わる砂の感触が心地よく、約45分無心にごみを拾い続けました。

神戸で生まれ育った私ですが、会社勤めで10年あまり故郷を離れており、定年で帰郷してからは、市内の山や海岸を散歩することが多くなりました。子供の頃、須磨海岸で海水浴をした思い出



人と人のまんなかに。

は50年以上遙か昔に遡ります。当時は大変大勢の人でにぎわっており、波打ち際近くで、初めて海へ入るのを怖がっていたような記憶があります。

そんな思いにふけりながらごみを拾っていると、あっという間に時間が過ぎていました。見た目は美しい海岸ですが、ごみを探しながら歩くと意外と多く見つかるもので、拾ったごみの分別、集計を行いました。燃えるごみ、燃えないごみ共に、昨年よりやや多い印象でした。種類は一番多いタバコの吸い殻を筆頭に、プラスチックごみ、木片、布きれ、金属片などで、中にはごみなのか貝殻などの自然由来のものか区別がつかないようなものもありました。

同じ会社のOB4人が一組になって集めました。他の3人が集めたごみの量は私に比べて、一見してはるかに多く、仕事ぶりの違いを見せつけられました。帰りは4人一緒に高取山へハイキング、健康的で有意義な一日でした。



## 二色の浜に集うボランティア250人

金子 紘一郎 (三井化学OB)



9月30日薄曇り、涼風が肌に心地よい初秋二色の浜海岸に、1歳から80歳超の老若男女が結集して2017ビーチクリーンアップキャンペーン活動が始まりました。

1か月前までは海水浴客でにぎわったこの海岸も秋の気配が漂う今はその喧騒はなく、ごみの中に見つけた花火の燃え殻に夏の痕跡を想起させます。

「拾うから探す」 ごみ減量は確実に進んでいる

私の記憶によると10年くらい前までは、プラスチック製ボトル、発泡スチロール、たばこのフィルター、流木などレジ袋2個程度の収穫(?)があったように思います。



ところがここ数年はごみの量が激減してます。今年の私の収穫は両手のひら1杯程度。それも浜辺に打ち上げられた海藻の中にまで目を凝らして収集したものです。これも、地域ボランティア団体や行政の定常的な清掃作業と我々市民のごみ排出のマナーが向上した結果でしょうか。

一方、この二色浜から10数km北の泉北臨海工業地帯の港湾には未だ流木やプラスチックごみが相当量に流れ込んでいるようです。先日OB会幹事会で三井化学大阪工場を訪問して幹部と雑談の折、工場従業員のボランティア活動で港湾周辺の清掃作業をしているが、大量のごみが流れ着いているとの話が出ました。

まだまだ大阪湾の深部の河口に近い所はごみで汚れているということでしょうか。

### ピクニック気分環境浄化

ともあれ私たちの活動領域がきれいになりつつあるということは嬉しいことです。

若いお父さんお母さんに連れられた幼児が砂浜で波と戯れている微笑ましい光景を見ていると、「ごみ拾い」という表現が古臭くなってきたように感じます。家族そろって自然に触れ合うピクニック感覚で、環境浄化運動に取り組むという今日的なクリーンアップ活動が、今後の方向性を暗示しているのではないかと感じたものです。

## 癒しの時をつくる 大阪府済生会中津病院ボランティア活動

井上 恵子 (登録会員)



私は3年前より大阪府済生会中津病院ボランティア「こもれび」で活動をしています。

中津病院では月に一度程、職員で構成された文化ボランティア委員会と病院ボランティア室主催のコンサートが開催されています。病院には不安を感じたり、悩んだり、時にはその解決方法を探しておられる方がおられます。グランドピアノが置かれ、絵画も飾られているロビーで開催しているコンサートは、そんな気持ち



「ロビーコンサート」ママ ゴスペル演奏会

を抱えている方の癒しになっています。

月1回土曜日の夕方30分程の時間ですが、院内も落ち着く時間帯なので、患者さんは楽しみにしていたと次々と会場に来られます。私達ボランティアは職員の方とコミュニケーションを取り安全を確保しながら会場や音響準備、通りかかった方へのお声がけをします。時にはマイクを持って司会もします。内容はコーラスや親子ゴスペル、ピアノソロやギター演奏の他に、落語など様々な芸術・芸能ボランティアの出演があります。観客の皆さんは本当に熱心に聴いて下さる方が多く、長いピアノ曲等もじっと聴いておられますし、感動のあまり涙を浮かべる方もおられます。またノリの良い曲だと手拍子で盛り上げてくださいます。こんな純粋な感動を共有し、そっと寄り添えられる素直な喜びを感じます。

また、コンサートとは別に患者さんがほっとする空間を提供する「こもればサロン」の活動も始めています。先日はCDでクラシック音楽を聴き



「こもればサロン」ピアノと歌とフルート演奏会

ながら、画集を楽しむ企画でしたが、クラシック好きの患者さんが来られて、ひと時を楽しんでおられました。

私がボランティア活動を志した動機は突然の病で夫を失った自分を立て直すためでした。今では心地よい癒しを感じる活動をする中で、やりきれなかった想いも少しずつ薄まっている気がします。コンサートの最後は必ず皆さんと歌うプログラムがあり、私も一緒に歌っているととても気持ちが良くなります。これからもこの時間を大切にしていきたいと思ひます。

## キッズプラザ大阪での活動

青木 富輝子（三井物産OG）

会社を定年退職後、何か社会との接点、繋がりを探していたところ、三井V-Netから「キッズプラザ



筆者（左）とスタジオインタープリターの皆様

大阪」のインタープリター募集のメールを頂きました。

在職中もほとんどボランティアとは無縁だったので、始める際に「本当にできるのだろうか？」と悩み、三井V-Netの誉田さんにご相談させて頂いたりしました。迷うより一度飛び込んでみよう！と思い応募して、無事二年半が過ぎました。

応募前の悩みは杞憂に終わり、今は楽しく活動させて頂いております。

私はスタジオインタープリターで、子供達にニュース番組体験、アニメーションのアフレコ、効果音を作成する「音響効果」体験をサポートしています。キッズプラザ大阪にはスタジオの他に色々遊べるフロアとパソコンと3つのセクションがありますが、私が子供だったら一番先にスタジオで遊びたいだろうという思いから、スタジオを希望しました。初めは恥ずかしがってキャスターや天気予報を読むレポーターも嫌がっていたお子さんが、やり終えて嬉々とした表情で自分の録画を見たりしているのを見てると私まで本当に嬉しくなってきました。

ほんの些細なことでも自分に勇気を持てたり、自信に繋がるんだなど改めて気づかされることもたくさんあります。会社では定年まで仕事をしましたので、退職後は全く違ったことをしたいと思っていましたが、私にとっても全く新しい分野で色々体験して気づかされるのがたくさんあり、本当に収穫の多い活動となっております。

2016年4月から会社時代の友人3人も加わり、更に楽しく賑やかになりました。私も迷ってためらってばかりでしたが、ちょっと一歩踏み出す事で新しい世界が広がってきました。

キッズプラザ大阪での活動を通してお友達が出来て、私と違う環境の方々の話も伺えてとても楽しいです。

キッズは5年間活動出来るということで、後2年頑張って健康で楽しく無事に過ごしていきたいと思っております。



## マイナビABCゴルフトーナメントボランティアに参加して

加藤 賀民 (登録会員)



今年から三井V-Netのご紹介でプロゴルフトーナメントのボランティアを始めました。プロのトーナメントを観戦し、機会があればボランティアにも参加してみたいと思っておりました。

ボランティアとして最初に参加したのは、2017年春のサントリーレディースゴルフトーナメントで、奇しくも引退表明をした宮里藍選手の国内最終戦でした。宮里選手をひと目見ようと訪れたギャラリーも多く、たくさんの感動を与えてくれた現場にボランティアとして参加できたことを有難く思っております。

2回目は秋に開催されたマイナビABCゴルフトーナメントです。ゴルフ場が自宅から遠いこともあり4時起きの参加でした。久しぶりの早起きで目覚ましを二つ準備するなど万全の態勢で臨みました。参加した決勝ラウンドの2日間は残念ながら台風の影響で両日とも雨、最終日は風雨が強くなり中断、中止となり選手もボランティアの方も残念な一日となりました。

もうひとつ残念なことは、楽しみにしていた石川遼選手の予選落ちです。国内のトーナメントは久しぶりということで多くのギャラリーが期待していただけに惜しまれます。

私は幸いなことに業務内容が2日間とも16番ティーグラウンドのホールマージャー（ギャラリーの誘導）という業務で、悪天候のためギャラリーも少なかったこともあって全選手のティーショットを堪能出来ました。プロならではの距離と方向の正確性など凄さはわかっておりましたが、特に2日目の風雨の厳しい条件の中でも冷静な判断と力強い精神力でプレーされていた姿は勉強になり



ました。これからもボランティア活動を通じてプロの生の技術を吸収し、自分のゴルフにも生かしていけたらと思っております。

## 中国支部 (広島)

### 今迄の活動におもうこと

永原 正子 (登録会員)



後列左が筆者

私達6名のグループは、毎月一回ボランティア活動のほか地域のイベントにも声をかけていただいています。月一回の活動は主に、デイサービスの会場です。夏の暑い日、大雨、雪の日も、バイク、自転車、徒歩で会場に向います。会場では元気なおじいちゃん、おばあちゃん達がお相手で、その前で銭太鼓、南京玉すだれを演じます。大きな口で爆笑をされる方、表情のない方、時々気持ちよくお昼寝をされている方、色々です。私達は笑顔の方をみるとウキウキします。皆んながもっともっと笑って楽しんでもらいたいと笑顔を忘れず演じております。帰り道、充実した日は嬉しくなり、気分のいい疲れできょうはよかったネ！！もっと腕をあげないと！！と声を掛け合い、その後のお稽古に励みます。各会場のスタッフの方は元気一杯笑顔で接しておられます。温かいですね。きょうはまた、どんな人達の顔に出会えるか、私達は全員の大爆笑をと試行錯誤しています。人生は甘くなく、すこしの幸せを大きく捕らえて今月もまた、自転車等で会場に向う昨今です。6名グループのスリーコインズさくら教室です。

### 広島市高齢者いきいき活動ポイント事業への参画について

中国支部事務局

広島市が平成29年9月から始めた「高齢者い



「いきいき活動ポイント事業」に三井V-Net中国支部も活動団体として認定を受け参画しています。この活動は平成29年9月1日時点で70歳以上の方を対象に、高齢の方がいつまでも健康で社会と関わりながら活動することを促すことを目的として活動の実績に基づいてポイントを付与され集めたポイント数に応じて奨励金が支給される事業です。中国支部独自で取り組んでいる広島平和公園の清掃活動に対象者が参加した場合は2ポイント付与されるスタンプを押印します。広島市が特定するボランティア活動の4ポイントを初めとしてその他の活動が2ポイント、健康診断の2ポイント、健康づくり1ポイントなど年間100ポイント（1ポイント=100円）を上限として支給されます。この活動はボランティア参加者を募る場合、また活動を継続していく上にも大きなフォローの風となりました。9月の清掃活動は台風18号の影響で中止となりましたので、10月が初めて対象となりました。

### 今回も柿もぎ体験に参加しました（2017.10.28）

中国支部事務局

毎年10月下旬にNPO法人ひろしま人と樹の会主催の「クマとの共生・柿もぎ体験」と称してクマがえさを求めて人里に出没しない環境にするため、人家の近くにある柿の木の実を取る体験活動に今年



も会員に案内したところ、5名の参加がありました。この行事は広島中国山地に位置する広島県山県郡安芸太田町の戸河内上



田吹地区との交流事業として平成13年から始められ、また現場セミナーとして林業経験のある指導者のもと林業体験活動として手入れ不足の里山のスギ、ヒノキを伐採するなど地元の人たちと共同で本格的な森づくりに貢献する活動も合わせ実施されています。三井V-Netとしては平成24年から柿もぎ体験に参加しています。今回は作業開始と合わせ雨に加え、もやのかかった状態となり雨合羽を着ての作業となりましたが、皆黙々と頑張っていました。またいつも楽しみにしているのは、昼食と取れたての柿を分けさせていただくことです。地元の女性による新米のおにぎりや猪肉を使ったとん汁などは格別なものでこのたびも大変おいしくいただきました。収穫した柿（高級柿—祇園坊）はナイロン袋にドライアイスを入れ渋抜き柿にして参加したボランティアの方に格安で分けられました。一人で20個入り箱を何箱も購入している方もおり、今年は特に豊作で一つ一つ形良い大きな柿に皆満足し持ち帰っていました。

### 広島市郷土資料館駄菓子づくり広場のイベントに参加して（2017.11.3）

中国支部事務局



毎年11月3日の文化の日は、広島市郷土資料館が一般開放され、様々な広島市の歴史にまつわる伝統的地場産業の写真と民具等の展示品を

当日は無料で見学でき、一般の皆さんへのアピールを含め「駄菓子づくり広場」のイベントが開催されます。三井V-Netは中国支部が開設された翌年の2007年の参加から11回を数えました。今年も会員の方を募りましたが参加者が思うように集まらず事務局をベースに4名の参加となりました。

当日は風もほとんどない11月にしては暑いくらいの陽気に包まれ絶好な日和でしたが、3連休



とひろしま国際  
平和マラソン他  
多くのイベント  
が広島各所で重  
なったせいか来  
場者は例年に比  
べ幾分少なく感  
じました。昔なじ

みのわた菓子、ラムネ菓子、一銭洋食、あったかわらびもち、型抜きに加え、子供に人気のスーパーボールすくい、ポップコーンづくりが準備され提供されました。子供を中心に親も一緒になって実際に自分の手で作ることを楽しながらなつかしい昔の味を味わっていました。今回三井V-Netはあったかわらび餅とスーパーボールすくいのお手伝いをしました。家族で楽しんでいる様子を見てみると時間がたつのも短く感じました。

## 事務局便り

### 2017年 一木会例会の行事報告

東京本部事務局

三井V-Netのボランティア会員が一堂に集う一木会例会は、年4回1、4、7、10月に開催しています。

例会では事務局報告、各部会報告（1月だけは理事長新年挨拶に変更）、講演を行い、終了後には親睦会を行って会員同士の交流を深めています。

2017年の一木会例会の概要は以下の通りです。

#### 【1月例会：1月12日 三井住友海上ビル】

- ・ 蔵本理事長新年挨拶
- ・ 事務局報告
- ・ 講演 「宇宙を見る新しい眼～世界最高標高の望遠鏡TAO計画」

講師：東京大学天文学研究教育センター 宮田隆志准教授

講演概要：

人類が古代から接してきた宇宙と、ガリレオが天体望遠鏡を発明して以来の宇宙研究の進歩、それに伴って解明されてきた様々な宇宙の実態などを素人にもわかりやすく解説いただきました。

さらに世界最高標高地点に設置した望遠鏡



で宇宙からの赤外線を見る、2001年から進めてきて完成間近となっているTAO計画の現状について講演いただきました。

#### 【4月例会：4月27日 商船三井ビル】

- ・ 事務局報告
  - ・ 部会報告 湘南倶楽部(布野さん)
  - ・ 講演 「より良い「終活」を行うために～エンディング・ノートのおすすめ」
- 講師：日本FP協会認定1級ファイナンシャルプランニング技能士 秋田實氏

講演概要：

第一生命のご出身で、三井V-Netの会員として東大国際センター部会、駒沢大部会にも所属して活動されている秋田實氏より、エンディング・ノートの書き方や心がけを説明、まだまだ元気な老後を生き抜いていくための「終活」のあり方を解説いただきました。



#### 【7月例会：7月6日 東芝ビル】

- ・ 事務局報告
  - ・ 部会報告 医療ボランティア(澤田さん)
  - ・ 講演 「心も体も豊かに～生涯スポーツ・太極拳の紹介と体験」
- 講師：武術太極拳元日本チャンピオン 市来崎大祐氏

講演概要：

武術太極拳の長拳で全日本選手権を、6連覇を含め合計9回の優勝を達成、世界大会でも多くのメダルを獲得した市来崎大祐さんが、自身の出場した大会の動画を映写して太極拳





人と人のまんなかに。

の紹介を行い、後半には椅子を壁際に寄せて会場に広いスペースを作り長拳の一端を実演、さらに参加者全員に日常簡単にできる太極拳の初歩を指導するなど、話しと実技を織り交ぜた楽しい講演となりました。

### 【10月例会：10月26日 商船三井ビル】

- ・事務局報告
- ・部会報告 東大国際センター部会(白井さん)
- ・講演 「最新の心臓病治療と心臓外科医から見た健康情報の本当と誤解」

講師：名古屋徳洲会総合病院心臓血管外科  
副院長・部長  
湘南鎌倉総合病院胸壁外科（漏斗胸）  
飯田浩司氏

講演概要：

わが国でも有数の心臓外科医で、漏斗胸と

いう疾患の手術に関しては世界で唯一の術式をお持ちの飯田先生から、まずは様々な心臓疾患とそれに対する最新の治療法について、図や実際の手術時の写真などを交えて素人にもわかりやすく解説、さらに心臓病を中心としてマスコミやネットなど世の中に流れている様々な健康情報の信ぴょう性を、しっかりと見極める必要があるとお話しされました。



## 物品ご提供による支援のお願い

三井V-Netでは下記の物品を随時収集しております。

集まった品々は年末に一年分を取りまとめ協力団体を経由して換金のうえ、東南アジア僻地の子供たちの中学就学やインドでの女性の生活向上と農業プロジェクトおよびインドネシアにおける給水・農業の技術指導など各事業の支援に役立てています。

支援金のもととなる物品につきましては、ボランティア会員に限らず広く一般の皆様からのご提供もたいへんありがたく、お知り合いにもお声をかけていただければたいへん幸甚でございます。ご協力を心よりお待ちしております。

### ご提供いただきたい物品

- 未使用はがき・書き損じはがき
- 切手(国内外、使用・未使用問わず)
- プリペイドカード(未使用のみ)
- 使用済み(純正)インクカートリッジ



### ご提供品送付先

三井ボランティアネットワーク事業団の本部  
もしくは各支部あて

- 本部(東京) 〒107-0052 東京都港区赤坂3-11-3 赤坂中川ビル3F  
TEL: 03-5570-2181 FAX: 03-5570-8035
- 関西支部(大阪) 〒556-0011 大阪市浪速区難波中1-12-5 難波室町ビル7F  
TEL: 06-4396-8680 FAX: 06-4396-8681
- 中国支部(広島) 〒730-0017 広島市中区鉄砲町6-7 槌本ビル5F  
TEL/FAX: 082-222-5101

編集責任者：菅田 卓也

# 三井ボランティアネットワーク事業団 (三井V-Net) 皆様もボランティア活動に参加しませんか

三井ボランティアネットワーク事業団は、三井グループ有志各社の協力を得て、1996年に設立されました。主として三井グループ企業出身のシニア層のボランティア活動を推進し、豊かで健康な生きがいを感じられるように支援を行い、以て三井グループ全体の社会貢献とすることを主たる目的としています。ボランティア活動会員登録には入会金および年会費等は不要です。

<b>ボランティア活動会員登録票</b>		(関東地域) 03-5570-8035	
		FAX (関西地域) 06-4396-8681	
		(中国地域) 082-222-5101	
三井ボランティアネットワーク事業団(三井V-Net) 御中 貴事業団を通じたボランティア活動への参加を申込みます。			
		記入日	西暦 年 月 日
氏名	(フリガナ)	生年月日	西暦 年 月 日
		性別	[ ]男 ・ [ ]女
住所	郵便番号 -		
自宅電話番号	- -		
自宅FAX番号	- -		
携帯電話番号	- -		
メールアドレス			
出身企業/勤務先			
以下の活動についてご希望される項目に○印を入れて下さい(複数可)			
希望する ボランティア	① [ ] 国際交流(留学生と日本語を通じての交流・文書作成の支援等)		
	② [ ] 環境保全(河川敷・海岸等の掃除、水源林地域保全活動)		
	③ [ ] 医療(病院外来の案内・図書整理・演奏活動等)		
	④ [ ] 福祉(福祉施設内の草刈・掃除、福祉団体主催イベントでの手伝い等)		
	⑤ [ ] 文化・教育(文化施設での手伝い、アジアの児童の奨学金支援)		
会員登録の動機について該当項目に○印を入れて下さい(複数可)			
[ ] 出身企業の紹介 [ ] ホームページを見て [ ] ニュースレターを見て			
[ ] 知人( )の紹介 [ ] その他( )			

上記入手の個人情報は、個人情報保護法の方針に従って厳重に管理し、ボランティア活動に必要な範囲内に限り使用させていただきます。

## 三井ボランティアネットワーク事業団

本部(東京) 〒107-0052 東京都港区赤坂3-11-3 赤坂中川ビル3階  
TEL:03-5570-2181 FAX:03-5570-8035

関西支部(大阪) 〒556-0011 大阪市浪速区難波中1-12-5 難波室町ビル7階  
TEL:06-4396-8680 FAX:06-4396-8681

中国支部(広島) 〒730-0017 広島市中区鉄砲町6-7 槌本ビル5階  
TEL:082-222-5101 FAX:082-222-5101

ホームページからも登録していただけます。 <http://www.mv-net.com/>